

健康づくりの予防の推進に関する各分野における取り組みと今後の方向性

分野	主な目標値と現状	25年度の取り組み (二重線印は主となる取組)	25年度の事業の成果と課題 (太線印は課題、二重線印は成果)	26年度の取り組みの方向性 (二重線印は新規又は強化する取組)
栄養・食生活	<p>○主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をほぼ毎日とっている人の割合 現状：47.1%(H24) → 目標値：52.0%(H34)</p> <p>○食塩摂取量 現状：男性 11.6g 女性 10.1g (H23) →目標値：男性・女性ともに 8g (H34)</p>	<p>○<u>父と子の料理教室の実施</u> (県下20地区で実施)</p> <p>○<u>食育県民講座の開催</u> (11月～2月)</p> <p>○奈良県食育推進ロゴマークの作成</p>	<p>○<u>料理教室や健康教育には、なかなか人が集まらない。</u></p> <p>○健康的なメニューを提供する店舗(健康なら協力店)の加盟店がなかなか増えない。<u>飲食店店主などに健康づくりの意識付けが必要である。</u></p>	<p>○<u>減塩健康食の推進</u></p> <p>○<u>家庭における実践に結びつく効果的な普及方法の検討</u></p> <p>○健康なら協力店や調理師連合会・司厨士会等の会員に健康食生活や健康づくりの研修会の開催</p>
喫煙	<p>○成人の喫煙率 現状 14.2% (H23) → 目標値 9.9% (H34)</p> <p>○未成年者の喫煙率 現状 中3男子：6.5%, 女子 2.3% 高3男子：12.3%, 女子 5.3%(H16) →目標値 0% (H34)</p> <p>○妊婦の喫煙率 現状 5.7% (H23) → 目標値 0% (H34)</p>	<p>○妊産婦禁煙支援マニュアルの作成 産科医療機関、市町村へ配布及び研修会の開催【H25.11中にマニュアル完成予定】</p> <p>○<u>妊産婦禁煙支援マニュアルの作成・配布</u></p> <p>○<u>未成年者禁煙支援相談窓口の設置等</u></p>	<p>○奈良県インターネット禁煙マラソン(妊産婦コースを新設)(H25.4～) 掲示板書込件数：248件, 相談件数：8件 <u>周知不足のためか、相談件数が少ない</u></p> <p>○未成年者禁煙支援窓口の設置(H25.9～) 医療機関数：全6か所 利用者1名 <u>学校へ支援窓口設置の周知が不十分</u></p> <p>○<u>働き盛り世代の男性及び若い女性への、効果的な働きかけが必要</u></p>	<p>○喫煙率の高い働き盛り世代の男性、若い女性への普及啓発、禁煙支援の検討</p> <p>○未成年者禁煙支援相談窓口(継続)</p> <p>○<u>COPD(慢性閉塞性肺疾患)対策モデル事業の実施</u></p>
特定検診	<p>○特定健診受診率 現状 25.1% (H23 国保) →目標値 60% (H29 国保)</p> <p>○特定保健指導利用率 現状 14.2% (H23 国保) →目標値 60% (H29 国保)</p>	<p>○特定保健指導実践者育成研修会</p> <p>○医療機関と連携した受診勧奨への取組</p> <p>○市町村の受診率向上の取組に対し県調整交付金で支援</p>	<p>○特定保健指導実践者育成研修会の開催 市町村、医療機関等から約150名の参加</p> <p>○<u>保健指導の見直しや評価ができていない</u></p> <p>○市町村と医療機関の合同勉強会開催(11/15)</p> <p>○医療機関の待合室設置用啓発雑誌作成</p>	<p>○保健指導の評価分析活用となる取組</p> <p>○全市町村を統一的に評価し、効果的な実現をめざす</p> <p>○受診率向上の取組に対し財政的支援</p>
生活習慣病	<p>○高血圧有病者の割合(市町村国保特定健診受診者50歳代) 現状 H23 男性 27.9%、女性 18.4% →目標値 男性 26.6%、女性 17.8% (H34 10%減少)</p> <p>○糖尿病有病者の割合(市町村国保特定健診者50歳代) 現状 H23 男性 9.3% 女性 3.4% →目標値 H34 現状維持</p>	<p>○市町村で(県調整交付金で支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>糖尿病等治療勧奨推進事業の実施</u> (糖尿病患者等が直ちに医療機関を受診するよう、市町村から受診勧奨カードを送付。) ・<u>糖尿病等起因歯周病対策事業の実施</u> (特定健診の結果に基づき、集団での歯科医師・歯科衛生士による口腔内審査と歯科保健指導の実施) <p>○慢性腎臓病(CKD)予防対策事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>住民への講演会の実施</u> ・協会けんぽとの連携会議 	<p>○糖尿病等治療勧奨推進事業実施市町村 <11市町村> 糖尿病等起因歯周病対策事業実施市町村 <4市町村> <u>重症化予防の取組行う実施市町村が少ない。</u></p> <p>○慢性腎臓病予防対策連絡会議の開催 CKD講演会を6市町村で実施 <u>市町村により取組の格差がある。</u></p>	<p>糖尿病や腎臓病等の重症化を予防する取組が多く市町村で実施できるよう、<u>重症化予防勉強会等を実施</u></p>

分野	主な指標	25年度の取り組み (二重線印は主となる取組)	25年度の事業の成果と課題 (太線印は課題、二重線印は成果)	26年度の取り組みの方向性 (二重線印は主となる取組)
がん (がん検診受診率向上・ 知識普及と意識啓発)	<p>○75歳未満のがん年齢調整死亡率 現状：80.0人(H23) →目標値：70.0人(H29)</p> <p>○がん検診受診率 現状：胃がん29.3%(40～69歳) 肺がん20.2%(40～69歳) 大腸がん24.7%(40～69歳) 子宮がん35.7%(20～69歳) 乳がん35.7%(40～69歳) (H22年) →目標値：50%(H29)</p>	<p>○<u>がん検診個別受診勧奨・再勧奨モデル事業実施</u> (生駒市、葛城市)</p> <p>○<u>がん予防推進員養成講座の開催</u> (王寺町)</p> <p>○<u>がん検診受診率向上に向けてのモデル市町</u> (天理市、川西町、王寺町、五條市)への<u>個別介入</u></p> <p>○<u>「がん検診を受けよう！」奈良県民会議</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会の開催 ・奈良県民会議のロゴマーク・キャッチフレーズ、各種啓発ツールの整備 ・奈良県民会議会員による街頭啓発 <p>○企業(がん検診応援団)と連携したがん検診受診の普及啓発</p>	<p>○個別受診勧奨・再勧奨モデル事業については年度内に効果検証を実施</p> <p>○がん予防推進員を59人養成し、<u>好評であった。</u></p> <p>○各モデル市町の現状、課題を把握し、今後の取組について検討を行っている。</p> <p>○活動方針と啓発ツールが整備され、<u>会員の活動内容が具体的にイメージできるようになった。</u></p> <p>○企業(がん検診応援団)とその他の会員が<u>情報共有できる機会ができた。</u></p> <p>○<u>奈良県民会議会員の取組の情報共有が必要</u></p>	<p>○成功事例の他市町村への展開</p> <p>○<u>がん予防推進員養成講座を各保健所単位で実施</u></p> <p>○<u>受診率向上のための各モデル市町での取組</u> (外部専門家の助言を受け、県、保健所、市町が協働して対策を実施)</p> <p>○10月10日の県民会議総会の開催</p> <p>○県民会議会員による受診啓発キャンペーンの実施</p> <p>○企業応援団会議の開催</p> <p>○啓発ツール(ポスター・ちらし)の更新</p>
歯・口腔の健康	<p>○歯科医師による定期的なチェック(1年に1回)を受けている人の割合(20歳以上) 現状：男性：33.4%、女性：39.7%(H24) →目標値：男性：50.0%、女性：50.0%(H34)</p> <p>○40歳で進行した歯周炎を有する人の割合 現状：41.5%(H24) →目標値：30.0%(H34)</p>	<p>○県内歯科医療機関を対象とした、<u>歯科検診に関する実態調査</u></p> <p>○<u>産科医療機関への歯科衛生士派遣</u> (妊婦の歯科口腔保健指導)</p> <p>○糖尿病等起因歯周病対策事業の実施 (御所市・平群町・宇陀市で実施、 黒滝村で実施予定) (再掲)</p>	<p>○歯と口腔の健康づくり条例記念シンポジウムをなら100年会館で開催(6月2日)。</p> <p>○糖尿病等起因歯周病対策事業については、<u>実施市町村が少ない。</u></p> <p>○<u>歯科口腔保健に関する県民の関心を高め、市町村における取組を進めることが課題。</u></p>	<p>○歯と口腔の健康づくり推進週間(11.8～11.14)の啓発</p> <p>○糖尿病等起因歯周病対策事業実施市町村の拡大</p> <p>○<u>歯科口腔保健に関する他職種情報交換会の開催</u></p>
まちづくり 健康づくりがしやすい	<p>○地域づくり地域活動参加者率 現状 15.9%(H24) →目標値 17.5%(H34、10%増加)</p> <p>○健康づくり事業実施市町村数 現状 4市町村(H24) →目標値 20市町村 (H26半数以上の市町村)</p>	<p>○地域の健康まちづくり 誰もが気軽に「健康」をチェックでき、日常生活の中で健康になれる方法がわかる拠点「<u>健康ステーション</u>」を設置(1か所)。</p> <p>○人材開発 <u>健康ボランティア情報交換会の開催</u></p>	<p>○イベントとして、～とおき健康話&最新機器で健康チェック～を開催(10/23参加者：約100名 測定会参加者：約300名)</p> <p>○健康ボランティア情報交換会 約90名 健康づくりの最新情報と他のボランティアとの情報交換会</p>	<p>○<u>健康ステーションの設置増</u></p> <p>○<u>健康実験結果の分析、公表</u></p> <p>○健康ボランティア情報交換会</p>